熊谷市
記者クラブ取材情報

令和8年2月24日発表
担当課:商業観光課

タイトル
熊谷駅観光案内所オープン1周年記念企画　荻野吟子ゆかりの地物産フェア（北海道せたな町、今金町）の開催について

1．日時
①令和８年３月３日（火）～２２日（日）
②令和８年３月２０日（金・祝）

2．場所
熊谷駅観光案内所（JR熊谷駅コンコース）ほか

3．事業概要
①観光案内所オープン１周年を記念し、本市出身の偉人「荻野吟子」ゆかりの地、北海道せたな町、今金町の物産フェアを行います。

②物産フェアにあわせて今金町が来熊し、ＰＲを行います。

4．特徴やPRポイント
①熊谷駅観光案内所オープン１周年記念企画について
昨年６月に小林市長がせたな、今金両町を訪問し、荻野吟子知名度向上についての協力、連携を依頼しました。交流促進の一環として企画したイベントになります。
販売商品は、各町の担当課が直接厳選した、自慢の地元特産品、加工品ばかりです。この機会に是非ご利用ください。
販売品数　約６０品
販売品目　海産物、加工食品、菓子、酒類、工芸雑貨等

②今金町ＰＲキャラバンについて
物産フェアにあわせて今金町が来熊し、ＰＲを行います。
当日スケジュール
１０時～　熊谷駅観光案内所前
・いまルン、ニャオざね写真撮影会、ノベルティ配布等
１２時～　八木橋百貨店８階カトレアホール前スペース（７階「春の大北海道展」開催中）
・いまルン、ニャオざね写真撮影会、DVD「荻野吟子の生涯」上映
・吟子ゆかりの品販売（吟子せんべい（さわた）吟子茶（茶の西田園）花埋み（梅月堂）吟ぎん寿司（妻沼のいなり寿司、メロード））
・吟子汁１００食無料配布（今金男しゃく、せたな加工鮭、熊谷産野菜、みそ使用）
・パネル、吟子鹿鳴館スタイル衣装展示等

5．その他
・八木橋百貨店では、３月１９日（木）～３月２２日（日）８階カトレアホール前スペースをお借りし、「荻野吟子ＰＲ展示」を行います。（各日１０時～１７時）
【協力】
せたな町役場まちづくり推進課、今金町役場まちづくり推進課、ＪＲ熊谷駅、（株）八木橋、吟子の会、阿うんの会

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）　※市HPの掲載（ 有 ・ 無 ）

担当者　（一社）熊谷市観光協会 小島、商業観光課　青木
連絡先　048-594-6677、内線312　048-524-1473（直通）

熊谷駅観光案内所開設１周年記念企画

荻野吟子ゆかりの地 物産フェア



熊谷市 × 北海道せたな町 × 北海道今金町

令和8年3月3日(火)▶3月22日(日)

観光案内所の１周年を記念して、荻野吟子ゆかりの地、北海道せたな町、今金町の物産展を開催。
北海道の魅力あふれる特産品をお楽しみいただけます。



▲半島食堂「十八番（おはこ）」
ポークとトマトのボロネーゼ
（今金町）



半島食堂「十八番（おはこ）」▲
ポークと軟白長ネギのラー油（せたな町）



▲若松ポークマン 生ハンバーグ（せたな町）

今金濃米／ゆめぴりか・ななつぼし・ふっくりんこ（今金町）▼





▲吟子物語　4合瓶
（せたな町）

なまらうまいっしょ！

▼今金紀行／
ホワイト５枚&いちご５枚
（今金町）





▲いか三升漬け（せたな町）



▲モッツァレラチーズ（せたな町）



◀せたな物産 開きこまい
（せたな町）



紫蘇ジュース（今金町）▲



◀今金男しゃく黒毛和牛カレー
／まろやか・スパイシー
（今金町）



▶さば開き（せたな町）



◀開きほっけ（せたな町）

開催場所

熊谷駅観光案内所

営業時間　9：00～18：00
電話番号　048-594-9292
〒360-0037　熊谷市筑波 2-115-1
近隣のコインパーキングをご利用ください。

進め、明日のその先へ
KUMAGAYA

企画提案書

熊谷駅観光案内所オープン１周年記念イベント
荻野吟子ゆかりの地物産フェア（北海道せたな町、今金町）
（荻野吟子知名度向上事業）

熊谷市産業振興部商業観光課、（一社）熊谷市観光協会

令和８年２月

荻野吟子ゆかりの地　物産フェアについて

熊谷駅観光案内所のオープン１周年を記念し、熊谷市出身の偉人「荻野吟子」にちなんだイベント開催を以下のとおり企画します。





イベント名

荻野吟子ゆかりの地　物産フェア（北海道せたな町、今金町）

内　　容

「荻野吟子」ゆかりの自治体、北海道久遠郡せたな町及び瀬棚郡今金町の物産品の販売を行う

※その他、両町の観光ＰＲ、パネル展示等により荻野吟子啓発を図る

商品調達：原則、熊谷市観光協会による買取（一部返品可能商品あり）

販売場所：熊谷駅観光案内所

実施期間：令和８年３月３日（火）～３月２２日（日）２０日間を予定

目　　的

・イベント開催による、市民、協会員等利用者への感謝と案内所ＰＲのため

・本市出身の偉人「荻野吟子」について、ゆかりある自治体との連携促進、周知啓発のため

せたな町及び今金町について

北海道久遠郡せたな町

・北海道の南西部、日本海に面した町で、アイヌ語の「セタナイ（犬の沢）」が地名の由来。「三本杉岩」や、「太田山神社」など、雄大な日本海の絶景や文化遺産、海産物の魅力あふれるまちです。

【吟子のゆかり】

・吟子は、入植した今金町から転居し、明治３０年頃、せたな町で医院を開業、婦人会や日曜学校を創設するなど、地域活動を推進しました。



荻野吟子開業の碑（せたな町）

北海道瀬棚郡今金町

・「今金男しゃく」（ブランドじゃがいも）や「今金米」で知られる農業のまちで、日本一の清流「後志利別川」が流れ、「ピリカ遺跡」などの遺産も残る、豊かな自然と食の魅力あふれるまちです。

【吟子のゆかり】

・吟子は、夫であるキリスト教伝道師、志方之善（しかたゆきよし）の理想郷開拓に伴い、明治２７年頃に今金町に居住、開拓に従事しました。



今金町開拓発祥之地（今金町）

荻野吟子について

荻野吟子（おぎのぎんこ）

日本最初の公認女性医師　1851～1913年



荻野吟子は、嘉永4年（1851）3月3日、現在の熊谷市俵瀬で名主役を務める荻野家の五女として生まれました。

幼少より学問を好み、明治7年（1874）23歳のころ上京、翌年、東京女子師範学校（現お茶の水女子大学）に１期生として入学、卒業後も医師を目指し医学校、好寿医院で学び続けます。当時、女性は医師への道が閉ざされていましたが、数々の困難を克服し、明治18年（1885）医術開業試験に合格、日本公許女性医師第１号として、現在の文京区本郷湯島で開業しました。34歳の時でした。

診療の傍ら、社会活動家としても女性の地位向上のため奔走しました。キリスト教の伝道師である志方之善と結婚後は、北海道へ渡り、インマヌエル（現在の瀬棚郡今金町神丘）の開拓に従事するほか、現在の久遠郡せたな町に医院を開業、婦人会や日曜学校の創設など、地域の文化、教育に尽力しました。

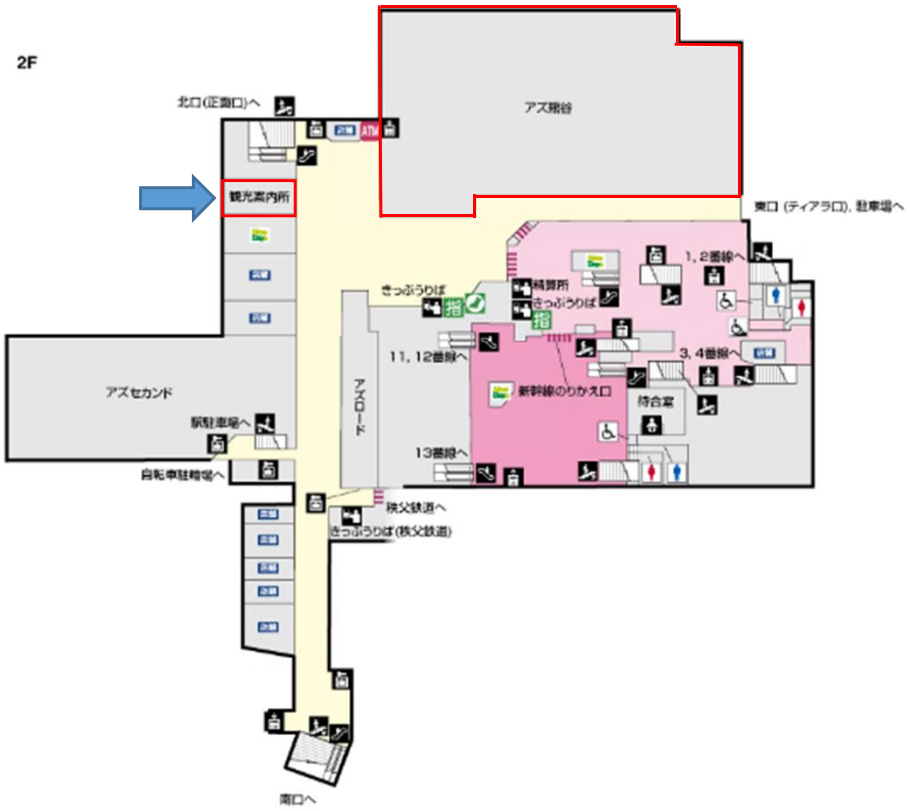
志方が亡くなったのち、明治41年（1908）帰京、現在の東京都墨田区向島で医院を開業します。この頃には女性医師の数も増え、日本女医会の活動に参画するなど、後進女性医師の活躍に関心を寄せていました。大正２年（1913）６月、満62歳で逝去。墓所は豊島区の雑司ヶ谷霊園にあります。



花埋み
明治の女性先覚者の生涯は渡辺淳一の小説「花埋み（はなうずみ）」で広く世に紹介された。1970年発表。

熊谷駅観光案内所について

熊谷駅構内図



【特徴】
・令和7年3月21日オープン
・熊谷駅2Fコンコース改札から正面に位置



熊谷駅観光案内所



正面

今金町　熊谷駅、八木橋百貨店でのＰＲについて①

物産フェア期間中、今金町が熊谷市にお越しになり、各町ＰＲを行います。

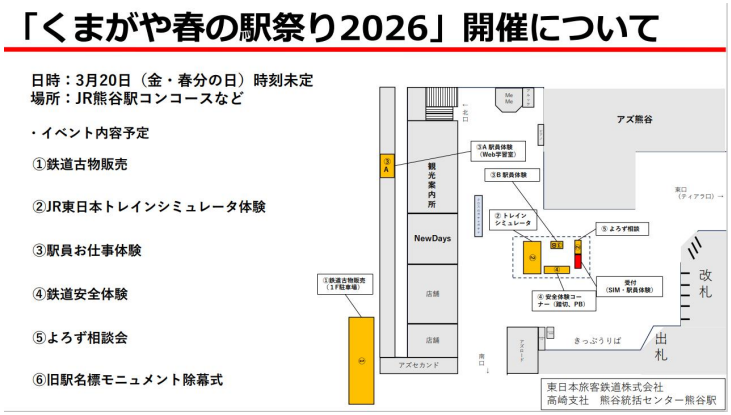
（ゆるキャラ、パンフレット、ノベルティ配布）

日時、場所　　令和８年３月２０日（金、祝日）

①１０時～　ＪＲ熊谷駅コンコース　「くまがや春の駅祭り」　※ＪＲプレス発表前

②１２時～　八木橋百貨店８階カトレアホール前スペース※７階「春の大北海道展」（3/11～23）開催中

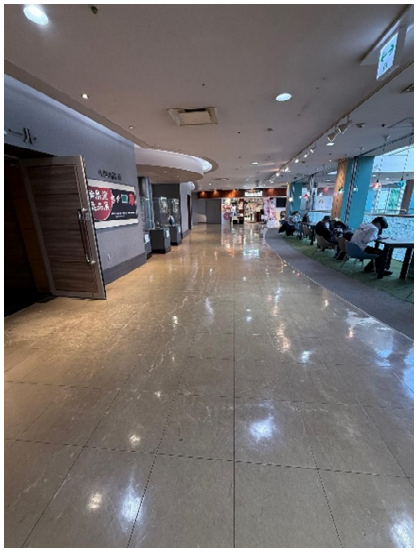
参考・・「カトレアホール前スペース」は３月１９日（木）～２２日（日）の間、市が借用し、期間内は荻野吟子関連資料の展示、ゆかりある自治体の紹介などを行う。



①駅祭り2026概要



②八木橋百貨店８階フロアガイド



今金町　熊谷駅、八木橋百貨店でのＰＲについて②

３月２０日（金、祝日）スケジュール

①ＪＲ熊谷駅コンコース　「くまがや春の駅祭り」　※ＪＲプレス発表前

１０時～　・「いまルン」「ラガーにゃん」登場、写真撮影会

・今金町の紹介、荻野吟子の紹介

・ノベルティ配布等

１０時３０頃　・終了

②八木橋百貨店８階カトレアホール前スペース　「春の大北海道展」

※当日は午前１０時から、展示、物販、旧妻沼町教育委員会制作のDVD上映（吟子の生涯）



１２時～　・「いまルン」「ニャオざね」登場、写真撮影会

・ノベルティ配布

・荻野吟子パネル、鹿鳴館スタイル衣装、吟子雛展示等

・市内銘菓、「吟ぎん寿司」（妻沼のいなり寿司）販売等

・吟子の会による「吟子汁」無料配布（１００食）

（今金産「今金男しゃく」せたな産「鮭」熊谷産「野菜」使用）

１３時３０頃　・終了



いまルン



ニャオざね